

平成24年度

# 予算の概要



市ではより良いまちづくりのために、お金の使い道を知恵や工夫を重ねながら決めています。この使えるお金は、皆さんが納めた税金や使用料などで賄われていて、その使い道を定めたものを「予算」といいます。この予算は毎年、市議会で使い道について話し合いが行われ決定しています。ここでは三笠市全体の予算規模と今年度実施する主な事業についてお知らせします。

三笠市の会計は、市政運営の基本的な経費を総括している「一般会計」と、特定の事業を行う国民健康保険などの「特別会計」、事業収益で運営する水道会計などの「企業会計」の3つの区分に分けて運営しており、今年度の予算額は、市の基本である一般会計が88億658万円で、他の会計を含めた予算総額は164億4,070万円となり、昨年度と比較して1.4%の減額となりました。



## 会計予算総括表

会計区分	平成24年度		対前年度増減額	対前年度増減率	
	当初予算額	構成比			
一般会計	88億 658万円	53.6%	減 3億 585万円	減 3.4%	
特別会計	後期高齢者医療特別会計	2億3,053万円	1.4%	増 2,612万円	増 12.8%
	国民健康保険特別会計	17億3,981万円	10.6%	増 3,356万円	増 2.0%
	介護保険特別会計	14億1,746万円	8.6%	減 2,522万円	減 1.7%
	育英特別会計	282万円	0.0%	減 51万円	減 15.3%
企業会計	水道事業特別会計	5億3,115万円	3.2%	減 2,316万円	減 4.2%
	下水道事業特別会計	10億2,987万円	6.3%	減 4,097万円	減 3.8%
	病院事業特別会計	26億8,248万円	16.3%	増 9,551万円	増 3.7%
合計	164億4,070万円	100.0%	減 2億4,052万円	減 1.4%	

## ① 市の財政状況と予算編成

市税収入では約7%の減となり、年々減少傾向となっていますが、これまで市民の皆さんと取り組んできた行財政改革などによって歳出を抑制してきていること、また歳入の約半分を占める地方交付税が昨年度とほぼ同じ水準で確保されたことなどにより、市の一般会計は安定した財政構造になりつつあります。今年度も借金は身の丈にあった額までとしたほか、市税など入ってくるお金の範囲内での予算編成を基本とし、将来に負担とならないよう取り組んでいます。

これらの効果により、借金残高はピーク時の半分以下となっているなど、現在は国などから指導を受けない財政状況で、今後も改善していく見込みとなっています。

## ② 主な事業

事業名	事業費	内容
地区市民センター整備事業	850万円	幌内市民センター、岡山市民センターのエアコン整備
市営住宅建替改善等事業	3億9,000万円	榊町団地C棟建設ほか
道路橋りょう新設改良事業	1億9,834万円	幸町、多賀町、萱野、柏町の道路整備ほか
都市公園整備事業	1,100万円	幾春別町、幸町、岡山の公園整備
石炭資源有効活用推進事業費	324万円	市民研究会の開催ほか
三笠ジオパーク構想推進事業費	1,750万円	ジオサイトの整備ほか
移住定住促進事業費	1,200万円	移住定住促進施策のテレビCMによるPR
保育所負担金助成事業	2,040万円	保育所負担金相当分を市内商品券で助成
予防ワクチン接種費用助成事業	978万円	予防接種法に基づかない任意の予防接種に要する費用を助成
住まいのリフォーム助成事業	1,600万円	住宅リフォーム等費用の一部助成
住宅建設等費用助成事業	1,350万円	新築住宅建設・中古住宅購入費用の一部助成
スポーツ環境充実事業	647万円	プロ指導者(野球、サッカー)の招致